

# ときがわカンパニー通信

第88号  
2025年8月5日発行  
(2025年8月17日配布予定)



## はじめに

ときがわカンパニー（同）代表の、<sup>せきねまさひろ</sup>関根雅泰です。

月1～2回の頻度で、この「ときがわカンパニー通信」を発行し、活動の様子を、皆さんと共有できたらと考えています。どうぞよろしくお願いします。

左の写真は、ときがわ町役場本庁舎前にある「ときがわ町起業支援施設 ioffice」です。

## ときがわカンパニー合同会社がやっていること

ときがわカンパニー合同会社は、2016年1月に設立されました。

設立目的は、「ときがわ町に、人が集まり、仕事が生まれる」状態を創ることです。

そのために、「仕事を自ら創り出せる」ミニ起業家を支援し、

彼らが活躍する事で、ときがわ町や近隣地域に、どんどん新たな仕事が

生み出され、人が集まってくるような状態を創れればと考えています。

皆さんのご支援よろしくをお願いします。



## 比企起業大学・大学院「夏の交流会25」@プリュネときがわを開催しました

2025年7月29日(火) 18時、比企起業大学・大学院「夏の交流会25」@プリュネときがわを開催しました。比企大関係者で12名の参加となりました。

**場所:** ときがわ町明覚小前「鉄板焼きプリュネ」

**目的:** ① 比企大交流の場 ② プリュネの応援

**理由:** なぜ、比企大がプリュネを応援するのか？ 比企大卒の3人が関わっていたからです。

**山なおさん、克己さんが、尾上さんの**紹介を受け、ときがわ材を使って、内装リフォームを担当。中川さんは、先々、比企大への入学を検討中(後輩になる?)。また、比企ら辺で、飲食店を開業した人達への一番の応援は、そのお店に行ってお金を使う(地域内でお金を回す)ことだからです。**暑い夏を乗り切るためにも、美味しい鉄板焼きを食べながら、皆で色々語り合いましょう!**という企画です!

▶ 18時前、プリュネに到着。駐車場の線がひかれていて、車が停めやすくなっていました。当日はカウンター以外を比企起業大学・大学院で貸切らせていただきました。まずは、乾杯! 新鮮なシャキシャキのサラダに、ときがわ野菜のチーズ焼き、ビールに合います!

**食事が一段落したところで、自己紹介タイム。**

① 今やっていること、② 手助けがあったらありがたいこと、③ その他、お話いただきます。トップは、ちょうど誕生日の、アウトドアナースマンの可沼さん(比企大22秋)。「一般社団法人アウトドアナース協会」の名刺もカッコ良いです! 2番手は、時計回りで、TENKU

CAMP BASE 奥武蔵の丹澤邦夫さん(比企院4期)。A4一枚の配布物も作ってくれていました。比企大で、ランチェスター戦略を学べたことが大きかったとのこと。嬉しいですね。3番手は、Wood Life Studio Katzの佐藤克己さん(比企大23秋)。A4配布物に英語が織り込まれています。さすが元英語教員。木でできた「山脈」の栓抜きが、プリュネでも使われています。手触りが良いです。4番手は、プリュネの内装も手がけた、木の地産地消をしている山なおさん(比企院3期)。山なおさんが関わっている「まるキャン」(比企ら辺まるごとキャンパス化計画)については、すけさん(比企大24秋)が説明をしてくれました。5番手は、この通信をレイアウトしている、そらとときの本の藤原あいかさん(比企大23春・比企院7期)。さすがプロが作るA4一枚は、違いますね。山なおさんと佐藤克己さんと3名での、ときがわ町のお客様からのプロジェクトについても説明してくれました。**比企大のメンバーが繋がっている様子を聞くのは、本当に嬉しいことです。**続いて、たぬきのねどこ at flowersの浅沼さん(比企大22秋・比企院7期)。40代～60代の女性が集まるお店について、皆が意見を出してくれました。浅沼さんの行動力、ほんと凄いです。続いて、蔵茂寿@東松山のとし姉さん(比企大21秋)。蔵の活動や、「おしゃべりの場」づくりについて、お話いただきました。次は、生成AIを使いこなす金井真輝さん(比

企大23秋)。金井さんには、弊社ウェブサイト(研修評価研究所)の作成やAIに関するセミナー登壇で、助けてもらっています。こういうパートナーと出会えるのも、比企大の魅力ですね。最後に、すけさん(比企大24秋)。今後について、皆さんから意見をもらっていました。すけさんなら、大丈夫ですよ! 比企大応援団員のMさんご夫妻は、**「まるキャン」2本目丸太看板も応援して下さい**そうで、ありがたいことです。最後に、山なおさんが**オーナーの中川さん**を紹介。オープン初月は順調なスタートとなり何よりです!これからも食べに行きますね。会計をしようとしたら、中川さんが預かっていたという「封筒」を渡されました。なんと! 参加が叶わなかった原さん(比企大22春)ご夫妻から会費のご寄付でした。封筒には上品な「水引き細工」。原さん、奥様、ありがたく使わせて頂きました。最後に記念撮影。こうやって仲間で集まるのは、やっぱりいいですね! 皆さん、ありがとうございました!



QRコード  
▲公式インスタグラム  
QRコード  
▲金井さん  
お店紹介  
QRコード  
▲記事は  
こちら!

■ 発行: ときがわカンパニー合同会社 文責: 関根雅泰(せきねまさひろ)  
■ 住所: 〒355-0343 埼玉県比企郡ときがわ町五明1083-1  
■ 電話・FAX: 0493-65-5700(すみません、外出が多い為、留守電にメッセージをお残し頂ければ、こちらからお電話します)  
■ メール: m.sekine@learn-well.com(メールの方が連絡が取りやすく、ありがたいです)  
■ URL: https://tokigawa-company.com/

## 第76回マナビバ!本屋ときがわ町 v.3を開催しました

第76回「マナビバ!本屋ときがわ町 v.3」を開催しました。ときがわカンパニー代表の関根です。2025年7月20日(日) 第76回「本屋ときがわ町」を開催しました。午前は「ゆるい読書会: 知的好奇心が刺激される本」を開催し、午後はのんびり本屋をしています。

日曜朝7時半、奥さんと選挙に行ってきました。その後、次男をサッカーに送り、iofficeへ。本屋の準備。8時過ぎ、昨日の停電でできなかった掃除の続き。箒ではいて、モップ掛け。看板と幟を出してオープン準備。9時過ぎ、出店者の風間さんが来てくれました。

前澤屋さんで「くずバー: 塩レモン味」を購入。とけにくく、暑くなった身体にしみわたります!

**出店者紹介 ①** 雑本の Full 本屋&トキノキオク舎・風間さん@坂戸市。今日のお勧めは「ときがわ町ゆかりの方々からの特別寄贈本」だそうです。風間さんの好きな作家さんの時代小説もあるそうです。②小麦の奴隷ときがわ町店さんによる美味しいパンの販売。

なぎーら(比企大22春)が来てくれました! 前からやりたかった子供たちが遊べる「プレーパーク」を先日開催できたそうです。次は、しゅーへーと一緒に「ゲーム大会」を鳩山で実施されるそうです。いいね～。頑張れ!

なぎーらの「関根さん、最近バドミントンやってるんですね?」という質問から、熱く長男とのやり取りを語っていたら、「実は、僕も高校時代、部活がバドミントンだったですよ」とのこと。マイラケットもあるそうで、今度、長男と一緒に3人で勝負したいです。

■カザマスター(比企大・学長)による「ブックカフェ(ゆるい読書会) 知的好奇心が刺激される本」がスタート! カザマスターは、3冊をチョイス。「教育は変えられる」「100年学習時代」「進化思考」何故これらの本を選んだのかを、熱く、楽しそうに語ってくれます。



本を熱く語る、風間学長(左)と、なぎーら(右)

小麦の奴隷 ときがわ町店の水谷さんが来てくれました。相変わらず美味しそうです! Facebook でいつも見ているという、ときがわ町の方が来てくださり、風間さん出品の本も購入いただきました。Hさん、ありがとうございます!

なぎーらの知的好奇心が刺激された本。「ミニミュンヘン(子供が自治するまちづくり)」の実践例。なぎーら自身が、鳩山で来夏の夏休みに、やってみたいそうです。小3～中3が対象で「子供会議」をやって市長を決め、子供達が自分達で作りたい「まち」を考えていくそうです。素晴らしい!

※風間学長のXより: 読書会を開催しました。いつもながら完全に自己満足の会です、笑。参加者の皆さまがお互いのオススメ本に出会えることで、自己満足のシェア会のような場になるといいなと思っています。来月もやります!

※山崎師匠からチャットで頂いたコメント: あいにく本日はうかがえませんが、盛会をお祈りします。ほとんどの本は「知的好奇心を刺激する」目的で作られているはず。電子書籍が勢いを増してきた今日、「紙の本」で知的好奇心を刺激するものは作れないか。これは多くの編集者が心密かに狙っている目標であると思います。いずれ「紙の本だからできる知的好奇心の刺激方法」などもテーマにできるとよいと思います。(師匠ありがとうございます!)

埼玉新聞の米山さんが顔を出してくれました。妻沼にある「フベンな本屋 むすぶん堂」の福島さんとお知り合いで、「彼がときがわ町を推してたんですよ」との事。(福島さん、ありがとうございます!)

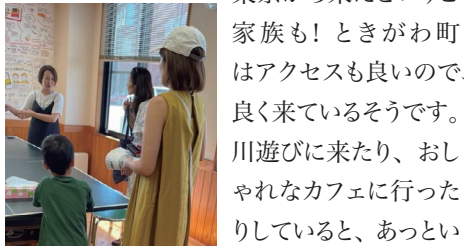
「これから、ときがわを開拓したい」とのこと、今日は暑い中、様子見ていらしたそうです。ありがとうございます!

フベンな本屋 むすぶん堂のInstagram ▶



小麦の奴隷の水谷さんが「出店できる場所を探してまして…」と言ったら、嵐山に向かうなぎーらが「嵐山で会う方々に紹介しますよ」と、パンフとTC通信を持って行ってくれました。ありがとう!

13時過ぎ、ユカさん(比企院3期、出店者さん)とA君が来てくれました。A君は、小麦の奴隷さんのパンを3つも食べていました。東京から来たというご家族も! ときがわ町はアクセスも良いので、良く来ているそうです。川遊びに来たり、おしゃれなカフェに行ったりしていると、あっという間に、夕方になってしまうそうです。嬉しいですね!



M君(年少)と、A君(小1)に、紙芝居「ダンゴムシのコロちゃん」「のみの皮でつくった王様の長靴」を読み、15時過ぎ、ユカさん、A君に手伝ってもらって、片付け完了! お手伝いありがとうございました。

皆さん、今日も1日ありがとうございました。次回は8月17日(日)です。お楽しみに♪







2025 年7月25 日（金）18 時～ 20 時、比企起業大学 25 春「7 月ゼミ」を開講しました。講師陣、学部生との意見交換の場です。当日の様子を、チャットを基に共有します。（まとめて下さった風間学長、ありがとうございます！）

前回からの BS（ベイベーステップ）とその結果報告などを紹介いたします。今回は、同期の仲間からのコメントも掲載いたします。

●小原さん <ベイベーステップ（BS）>  
1 日 1 回、10 分間だけ自由に創作メモを書く  
▶ 孫の世話で忙しく、2 日に 1 回メモ。だいたいできたかな。

机に向かって考えるのが苦手。すぐに動く。出版美術家連盟の会長さんと会った。どんな進め方が良いかをリサーチ。大学の先生にもお会いして、自分の絵を絵本にしたときに、読み手に対して年齢相応なのかを聞いた。無垢な目で考えないとダメ。孫を観察しながら、近所の子供たちと話をしながら、幼い自分に戻ろうとしている。それが新鮮。今までは、時間に追われて走り回っていたが、今、子供時代の感覚を勉強している。

ヒロさんからのコメント：昔に帰って、無垢な気持ちで考えるのは、ワクワクする感じ？

小原さんの返答： 子供の頃、山に一人で行っていた。竹のさらさらした音を聞いていた。木の電信柱、電線の震える音を聞いていた。それを聞いてニヤニヤしていた。その感覚を

どうやって表現するのかは難しい。自然の音や光を、全感覚でつかんでほしい。今になっても忘れない体験を。

●しばこーさん <BS>  
メルマガ登録用 Google フォームと GAS（Google フォームやスプレッドシートを自動で動かせるプログラム）を作成し、配信同意を得た人を、自動的にリスト管理できる状態にする

▶ BS は達成できた。メルマガ登録者から、面白かったです！という反応あり。メルマガやってみて良かったと思える 1 か月間だった。

風間さんからのコメント：

しばこーさんのは分かりやすくて、note も読むようになった。

ヒロさんからのコメント：メルマガ登録をしたいので、チャットに入れてください。

サキさんからのコメント：「やったんだー！」と思って、嬉しくてメルマガに登録したかったけれど、どうやっていいのか分からなかった。専門用語を使わずに、わかるように伝えるという、温かい言葉があったので、読んでみた。しばこーさんは、一歩も二歩も進んでいる。応援したい。

しばこーさんの返答： たくさんの顧客は必要なのではないかという助言もあり、X 等での拡散はしてない。知っている方を中心に、10 人に送った。詳細はこちら！↓

こじまるメルマガ登録  
GoogleForm



メールアドレス、お名前、所属を記入してもらって、送信ボタンを押してもらったら、登録完了メールが届くはずです！

●さきさん <BS>  
第一回ケアっこカフェに向けて、参加者への安心感を意識しながら自己紹介や配慮事項の整理、当日の進行の確認を行う

▶ 第 1 回が無事に終わった。予定していた 2

組の内、1 組が参加。次回もやっていこうとお母さんの想いが放出。涙も止まらず、ずっと話を聞いていた。普段ためていたものが、堰を切ったように出てきた。子供の育つ力を信じられなくなっていた自分（母親）もいたが、話しているうちに、すっきりして、笑顔で子供に向きあえるようになったよう。0 歳の赤ちゃんは、専門外だったが、ゆくゆくは、医療ケアが必要なお子さんになる。自分の存在が、ちょっとでも残ったら。お話会。気持ちが軽くなって帰ってもらえたらいいかなと。次回もできたら。お母さんは心配事が多すぎて、また、周りから色々言われるので、外に出たくないそう。心臓に疾患がある 7 か月の赤ちゃんもいる。お母さんやお子さんに寄り添いたいけれど、出てきてもらえないと関われない。

小原さんからのコメント：発達障害のお子さんがいるお母さんを、ライターとして雇っていたことがある。お父さんの理解が得られずに、苦労されていた。心理面でもサポートをお願いしていた。お父さんの理解がないと難しい。ご家族全体の協力体制ができたらいいなと。

サキさんの返答： ご主人は一番近い存在だけれど、見る方向が違う場合が多い。近しい人からの理解されない苦しみは大きく、それは問題として出てきづらい。すべてが、お母さんの自己犠牲の内になりたってしまうのは、何とかしたい。

しばこーさんからのコメント： サキさんのお話は貴重。普段の仕事では聞けない。そういう人がいて、助けたいと思っているサキさんのお話を聞けるのが貴重。すぐリスペクトしている。素晴らしいし、エールを送りたい。

サキさんの返答： ああいう親子たちが、笑う姿を見るのが好き。ずっとサポートしていきたいと思っているだけ。それを事業にしていきたいと思う。応援をお願いします！



都会では出会えない、生きているリアル・オニヤンマ。  
ときがわ町大野の山で、友人がかぶっている帽子にとまりました。

「そらとときの本」の  
ご紹介・お問合せ先 ▶



## 編集後記

夏もここまで暑いと外出が減って、気づいたら家の周りに大きなスズメバチの巣ができている、なんてことも多いそうです。

3 年ほど前に発売された「オニヤンマ君」ってご存知ですか？ アブや蜂は、天敵のオニヤンマの姿が見えると近づかないそうです。比企郡では、畑仕事の帽子やリュックにつけている人をたまに見かけます。ときがわ町の農家さんは、愛用していました。

本物そっくりに作られたその姿には、ドキッとしますが、思わず「よくできてるなあ」と感心してしまいます。

オニヤンマ君みたいな、今までになかった「モノ」が暮らしを助けてくれるように、「気づかなかったコト」に取り組むことで、今を大切にできたり、安心できたりすることがあります。

本をつくるという行為も、そんな「コト」のひとつかもしれません。「そらとときの本」では、お客様に寄り添いながら、大切な作品、長く続けてきたことなどを、かたちにしています。手のひらに残る一冊が、誰かの時間を豊かにできたら嬉しいです。

＜そらとときの本・藤原あいか＞

●たなかつさん <BS>

①ガラス彫刻のワークショップを実施する。  
②次回マルシェ出展に向けて、フロントエンド商品を企画し、製作する。

▶ 明日初めてのワークショップを、5 組限定で、鳩山で実施予定。3 組が参加予定。オーダーメイドのランプを作ってほしいという要望があり、作った。似たようなことをやっているお店に行った。このレベルでワークショップをやってるんだと。自分が企画している WS のほうが、より面白くなるはず。

見せ方の工夫で、パッと作れるものが無いかと考え中。決まったものだけでなく、色々なものに彫れるよう。しかも、プロが使うパワフルなツールを使ってもら。彫る時間、30 分ぐらいでできる。会場は、2 時間とっている。参加者は、ハンドメイド、定年後の趣味を探している年長者が多い。マルシェでもそういう方が声をかけてくれる。案外、そういう方に刺さるのかなと。奥さんに連れられてきた旦那さん。ふっと立ち寄ってくれて、興味をもってくれた。奥さんは、「私はいいわ」と。

ヒロさんからのコメント：マルシェで告知？

たなかつさんからのコメント：マルシェとインスタ。直接、連絡くれる人達。5 組のイメージがあった。マルシェで置いているのは、サンプル商品。こんなのできますよと。「昔から捨てられないワインの瓶に何かしたい」と思っていたという方に、アプローチした。比企大で勉強してから、今までは、やみくもにマルシェ

に出ていたが、今は、地域を絞り込んで。同じところに回数多く出ている。今回の本を読んで、川越にはいくべきではないと思った。団地だと、定年を迎えた方が多い。奥さんに連れられて、散歩がてら来るお父さんが多い。敢えて、目の前で、ガラスを削って見せたりしている。

●ヒロさん <BS>  
『一点集中』することを目的に、幅広い研修プログラムのの中からバックエンド主力商品を明確にする。そのために、

① 提供できる価値・強みの整理  
② ①を踏まえ、誰に何を届けるのかの明確化  
③ ①②を踏まえ、法人顧客向けの提案資料の作成を行う。4 月に研修の提案をした A 社に対し、再度アプローチを行う

▶ 7 月は色々あった。提案した会社にもフォローメールは送った。想定していなかった 2 つの話が出てきた。25 年 2 月にコンタクトした企業から、8 月に研修をやってくれと言う話が来た。プログラムを固めて、事前課題を作った。納品した。8 月下旬に実施予定。

高校生にキャリアの授業を届ける NPO にボランティアとして登録。その代表の方に「真剣に自分の話をして、真剣に聞いてもらう機会を、高校生に経験させたい」と、思いついたことを提案した。今まで大学生には実施しているが、高校生にはしていない。8 月に代表と会う予定になっている。

法人向けの提案資料はまだできてない。大

学では、グループに一人コーチが入るが、高校では、教室に一人コーチが入り、ファシリテーションをしてもらう。

たなかつさんからのコメント： 息子が高校を卒業してから、部活の友達を家に連れてくる。20 歳になってからは、自分と一緒にお酒を飲むようになった。高校時代は、コミュニケーションは手軽にできるけれど、その当時、息子と真剣に話せていたのか？ というと、疑問。

ヒロさんが、高校生向けに、提案をしようと思ったきっかけは？

ヒロさんの返答： 大学生にできるなら、高校生にもできるのでは？ と考えた。

小原さんからのコメント：大学生になると、世の中に真摯に向き合う。高校生だと、まだ子供。真剣に話すことが少ない。海外に比べて、討論ができない。素の自分を出して、討論するということまで、教育が進んでない。大学生になると、世の中を見られるようになる。高校生だと、本音が出てこないのでは？

ヒロさんの返答： 真剣に話ができる場づくりが必要。ぼそっとでもいいので、話す機会を作りたい。中学生と小学生には、実施済みで、彼らも討論はできている。上手く場づくりができれば、高校生にもできるはず。

今回もありがとうございます。  
同期の仲間からのコメントがいいですね！  
8 月のゼミも楽しみにしています！

## 第 77 回 マナビバ！本屋ときがわ町 version 3

本屋ときがわ町 version 3  
バージョンアップの  
経緯はこちら



2025 年 8 月 17 日（日）10 時～15 時 ときがわ町役場前 起業支援施設 ioffice にて

個店の出店やイベントの企画出店は随時募集中です。各回の出店定員は以下の通りです。

●フード（ランチ提供）1～2 コマ ●個店出店 6 コマ ●講座、ワークショップ 午前・午後各 1 コマ

出店料：比企起業大学関係者 1 日 550 円・半日 330 円  
それ以外の方 1 日 1,100 円、半日 660 円です（2023 年 4 月料金改定）  
イベント（ワークショップ等）を開催される場合は、出店料＋550 円いただきます  
ご興味がある方がいらっしゃいましたら、風間までメールにてお気軽にお問い合わせください。Email：kazaman1157@gmail.com

- 毎回、講座やワークショップ、読書会など、「学び」の場にする
- 本などの物販はサブコンテンツとする
- イベント開催自体を比企起業大学在学・卒業生の学ぶ場と位置付け、運営や講座・ワークショップの企画や実施に関わっていただく機会をつくる
- 運営側は 9 時半に集合し、掃除・会場設営から始める

この「ときがわカンパニー通信」をお持ちいただくと、比企起業大学・総長の関根が販売する **しるし本**の文庫 **または新書** を 1 冊プレゼント！ 関根が「大切なな」「参考になる！」と線やメモを記した **世界に 1 冊しかないしるしの入った本**です。ご参考にいかがですか？（種類によって、しるしの入っていない本もございます）

## ときがわ町起業支援施設 ioffice での「有料起業相談」のお申込みについて

「ときがわカンパニー」のブログに、「起業相談用：代表 関根の大まかなスケジュール」が出ています。そちらをご確認の上、「フォーム」からお申し込みください。24 時間、365 日いつでもお問合せ可能です。1 回 1 時間で料金は 3,300 円、**比企起業大学関係者・ときがわ町民は 1,100 円** を頂戴いたします。

